



すさやの お食い初め膳

ささやのお料理でお子様の健やかな成長をお祈りする
「お食い初め」のお祝いをしませんか

お食い初めとは、正式には「御百日祝い」と呼ばれる

赤ちゃんの生後100日目から120日目の間に行われるお祝いの儀式です。

「これから、食べることに困らないように」との願いを込めて、

赤ちゃんに食事を食べる真似をさせるのが、お食い初め(御百日祝い)の儀式です。

お食い初め膳 4,950円(税込)



- 尾頭つき鯛
- 赤飯
- 汁物
- 焼き物
- 香の物
- 歯固め石



ご利用いただきました
歯固め石は
そのまま持ち帰り
頂けます。

※「男の子用(朱色)」と「女の子用(黒・朱色)」のお食い初め膳の食器をご用意しておりますので、ご予約の際にお申し付けください。
※ベビーベッドをご用意いたします。ご利用は予約の際にご依頼ください。

選べるお部屋 (全室個室)

部屋は洋室・和室が
ございます。
お好みに合わせて
お選びください。



● お食い初めはいつやるの？ 100～120 日前後に

赤ちゃんの乳歯が生えはじめる、生後 100 日～120 日目に行うのが一般的ですがピッタリその日に行なわなくてはいけないということではありません。あくまでも目安にすぎませんのでその前後の都合のいい日を選び、お祝いするといいでしょ。

● どのようにするの？ 食べさせ役は年長の方に

正式には「養い親」が箸をとり食べさせるマネをします。「養い親」とは身内のなかの長寿の人ですが、これも長寿にあやかると言う意味があります。男の子なら男性に、女の子なら女性に頼みますが最近は祖父母が行うことが多いようです。

● お食い初めの順番

お食い初めの儀式では、赤ちゃんにお料理を食べさせる順番がありますが実際には口もとに近づけて食べさせる真似をしてあげます。その後は「歯固めの石」をつかって、赤ちゃんの丈夫な歯が生えることを願うための「歯固めの儀式」を行います。

- ① ごはん → ② お吸い物 → ③ ごはん → ④ お魚 → ⑤ ごはん → ⑥ お吸い物

①～⑥の食べさせる真似を
3 回繰り返します

↓
⑦ 歯固めの儀式



「歯固めの石」に
お箸を軽く、
ちょんちょんとつ
ついてから・・・



「石のように丈夫な
歯が生えますように」
と祈願し、そのお箸
を赤ちゃんの歯ぐき
にやさしく、そつとあ
ててあげましょう。



すさや



0120-117-338

〒386-0012 長野県上田市中央 2-15-12 TEL: 0268-22-0128 FAX: 0268-24-9100

<http://www.uedasasaya.com/>